

幸せ応援地域プロジェクト × **ゼクシィ**

2014年10月3日

PRODUCED BY RECRUIT

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ゼクシィ

今度の「ご当地婚姻届」は、ロイヤルウエディングで話題の縁結びのまち出雲から... 出雲市×ゼクシィ、出雲神話をイメージした婚姻届が登場！

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：富塚 優）が企画制作する結婚情報誌『ゼクシィ』は、リクルートマーケティングパートナーズ総研が展開する「幸せ応援地域プロジェクト」と協働し出雲市とコラボレーションした「ご当地婚姻届」をダウンロードできるサービスを10/3（金）より開始することをお知らせいたします。

2014年7月にダウンロードサービスを開始し、多くのカップルにご好評をいただいている「まちキュン・ご当地婚姻届」。前回くまモンの婚姻届（熊本県）が登場してSNS上が賑わう中、早くも第4弾として出雲神話をイメージした出雲市（島根県）の婚姻届が登場！

▼提出用婚姻届



▼ふたりの記念用



出雲市が用意した4つの「祝福」

今回、出雲市では、ご当地婚姻届を提出するカップルに向けて、「ご縁結び処（どころ）」を開設し、提出時に記念撮影などが出来る特別な「祝福」を用意。この機会に出雲市へ足を運び、婚姻届を提出した後にお二人でパワースポット巡りをするのも良いかもしれません。

①記念撮影コーナー

①記念撮影コーナー



②窓口用オリジナルスタンプ



※青枠内は提出日の日付が入ります。

②窓口用オリジナルスタンプ

③結婚記念ファイル

④市窓口配布「ふたりの記念用婚姻届」

※②③④は11月4日（火）からスタート

「ゼクシィ」編集長 神本絵里 コメント

折しも出雲大社では、高円宮妃久子さまの次女、典子さまと出雲大社の権宮司、千家国麿さんとの結婚式を10月5日（日）に執り行う予定で、地元はご結婚を前にお祝いムードで盛り上がっています。新たな歴史を刻む出雲の地で生まれた、出雲市とゼクシィコラボの婚姻届で届け出されるのはいかがでしょうか。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

■「まちキュン・ご当地婚姻届」概要

「まちキュン・ご当地婚姻届」のサイトにアクセスすると、各自治体オリジナルデザイン婚姻届の一覧が閲覧可能。さらにアンケートに回答すると、お気に入りの「ご当地婚姻届」が提出用・保存用共にダウンロードできます。ダウンロード頂いた方の中から抽選で毎月10名様にQUOカードが当たるキャンペーンも展開中。

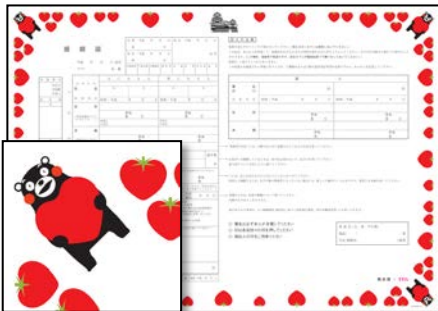
サイトURL (<http://www.recruit-mp.co.jp/machi/>)

■「まちキュン・ご当地婚姻届」バックナンバー

【第3弾】

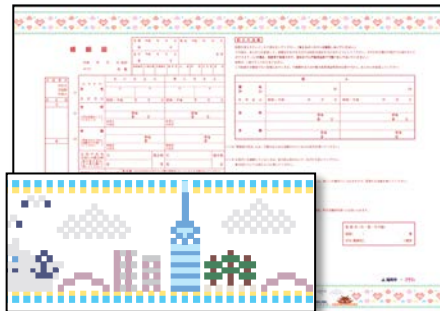
<熊本県>

<まモンと県産のトマトがモチーフ>



<福岡市（福岡県）>

博多織で福岡のまちをイメージ



<郡山市（福島県）>

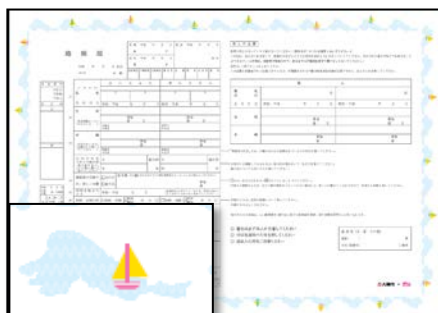
猪苗代湖の白鳥と音楽がモチーフ



【第2弾】

<大津市（滋賀県）>

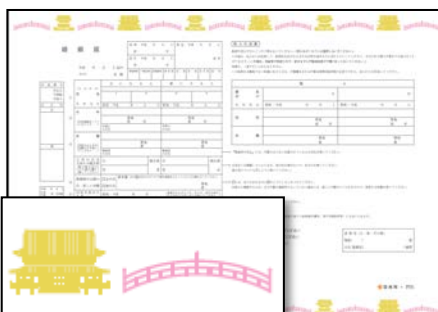
日本最大の湖“琵琶湖”がモチーフ



【第1弾】

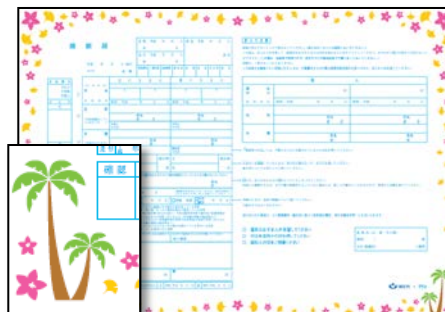
<日光市（栃木県）>

世界遺産「日光の社寺」がテーマ



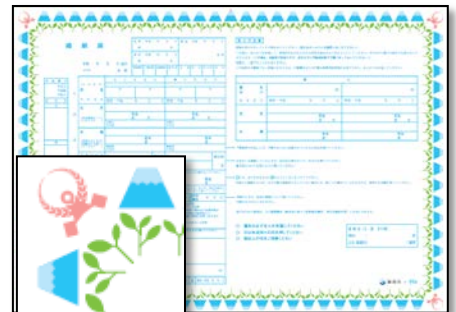
<浦安市（千葉県）>

都心に近いリゾートをイメージ



<静岡市（静岡県）>

未だがり富士山モチーフ



■「幸せ応援地域プロジェクト×ゼクシィ

produced byリクルートマーケティングパートナーズ総研とは？

結婚を予定する若い世代に向けて、地域の魅力や豊かなライフスタイル、各自治体の結婚支援策等を発信していくプロジェクト。第一弾企画として、日本各地の自治体と連携し、ご当地オリジナルデザインの婚姻届を作成しました。「ご当地からの祝福を含めた婚姻届をきっかけに、“ご当地婚”の活性化や“婚姻届を提出する記念旅行”の提案など、地域活性にも繋げていけたら」と考えています。

■リクルートマーケティングパートナーズ総研とは？

<http://www.recruit-mp.co.jp/souken/>

リクルートブライダル総研、リクルート進学総研、リクルート自動車総研（2014年4月新設）および、地域と連携し、社会課題に向き合う「地域振興・少子化対策チーム」で構成。企業メッセージに掲げた「人生に、拍手があふれる世界を。」を実現するため、若年世代を中心とした「ライフデザイン」に関する調査・研究を推進。社会課題に向き合い、地域の人口減少や少子化対策等の社会課題解決に向けた活用を目指しています。